

東広島市環境先進都市ビジョン・行動計画

【基本理念】

～ 人と自然と技術のくふうによる、次世代型の環境都市 ～

環境先進都市ビジョンは、東広島市環境基本計画等に基づく各種の施策を着実に展開していくとともに、持続可能な社会の構築を目指してより包括的な視点から「環境」という言葉をキーワードとした東広島市のまちづくりの方向性を示すものです。

●平成27年3月策定

●策定の背景

地球温暖化の進行やエネルギー問題、里地里山等の保全など環境に関わる問題が複雑化・多様化するとともに社会経済構造の変化や過疎化・高齢化の進展により地域が抱える課題への対策も求められており、これからのまちづくりにおいては環境をキーワードとして長期的な視点からの方向性を描いたビジョンが必要です。

●4つの基本目標（東広島市の挑戦）

基本理念に掲げた「次世代型の環境都市」を目指し、基本目標を定めます。（右の4つ）

環境先進都市ビジョンの
基本目標1～4

1 スマートシティの構築



2 環境イノベーションによる産業の活性化



3 ひがしひろしま環境スタイルの提唱



4 ゼロエミッションシティの実現



【環境先進都市ビジョン行動計画】

●平成28年7月策定

●S-TOWNプロジェクト

環境先進都市ビジョンで掲げた重点施策について施策間の連携や相乗的・波及的な展開、先進性の確保等を図りながら力強く推進するため、いくつかの重点施策を束ねて5つのプロジェクトを設定しました。このプロジェクトの頭文字をとって『S-TOWNプロジェクト』と称します。

S-TOWNプロジェクトの実現のため、産学官民が一体となった推進組織（プロジェクトチーム）を立上げ、各プロジェクト推進の先導役として行政が中心となって取り組む個別事業を段階的にスタートさせます。

取組状況及び今後の計画

【取組状況】

平成27年

○環境先進都市ビジョンの策定

- ・スマートハウス化支援補助制度の創設
- ・バイオマス活用に向け自伐林家養成講座開催
- 木質ペレタイザー購入ほか

【今後の計画】

平成28年

○環境先進都市ビジョン「行動計画」の策定

- ・S-TOWNプロジェクトの設定
- ・産学官民連携の推進組織の立ち上げ

中期計画期間（H32まで）→

個別の事業を
力強く推進

東広島市環境先進都市ビジョン及び行動計画の体系図

【ビジョンの基本理念】

人と自然と技術のくふうによる、次世代型の環境都市

基本目標
（東広島市の挑戦）

基本方針

1 スマートシティの構築

1-1 家庭におけるエネルギー
マネジメントの推進

1-2 コミュニティでのエネルギー
マネジメントの推進

1-3 再生可能エネルギーの利用
推進

2 環境イノベーションによる
産業の活性化

2-1 環境分野におけるイノベー
ションの促進

2-2 循環型農林水産業の構築

3 ひがしひろしま環境
スタイルの提唱

3-1 ナチュラルエコライフの推奨

3-2 持続可能な社会構築に向けた
人材育成

4 ゼロエミッション
シティの実現

4-1 ごみの減量化・資源化の推進

4-2 最終処分ゼロのまちづくり

重点施策を推進するための
S-TOWNプロジェクト

S スマートタウン形成
モデルプロジェクト

■家庭やコミュニティにエネルギーマネジメントが浸透し、再生可能エネルギーの利用が飛躍的に増加したスマートシティの構築に向け、家庭や店舗・事業所のスマート化を図ると同時に、そのシンボル事業としてスマートタウンの形成を目指す。

T 技術の地産地消連携
プラットフォーム構築プロジェクト

■市内の産学官民が有するポテンシャルを他のプロジェクトの実現に活かすための連携支援組織を立ち上げ、プロジェクトの体制整備や技術連携、人材活用を支援し、各プロジェクトのアウトプットを環境教育や地域活動にフィードバックする体制を整える。

O 有機性廃棄物
エネルギー創出プロジェクト

■ごみの減量化・資源化を推進し、再生可能エネルギーの活用や環境に優しい農林水産業の連携を加速させることを目的に、湿潤系バイオマスからエネルギーを取り出し、その残渣を有効利用する仕組みを確立する。

W 木質バイオマス活用
促進プロジェクト

■森林保全や里山再生、新たな雇用の創出等の地域課題解決を目指し、木質バイオマスを地域で有効活用する仕組みを確立する。

N 次世代エネルギー
普及加速プロジェクト

■再生可能エネルギーの普及促進と並行して、次世代エネルギーである水素利用に先進的に取り組み、エネルギーや環境問題全般への市民意識の醸成を図る。

一部事務組合（広島中央環境衛生組合）
によるプロジェクトで対応